

税額の求め方が変わります

本年度は3年に1度の固定資産税の評価替えの年度に当たります。この評価替えは、土地や家屋の価格を基準や実態に合わせて見直すものです。

この土地や家屋の価格（評価額）が、固定資産税を計算するために必要な課税標準額の基になります（図1参照）。

今回、地方税法の改正によって変わるのは、土地にかかる固定資産税の課税標準額を計算す

る方法です。土地は価格が上下することがあるため、急激に価格が上昇した場合でも、税額が急に上がらないよう配慮されています。しかし、同じ価格の土地でも、税負担に違いが生じることもなるため、負担の均衡を図る仕組みがあり、この一部を改めるものです（具体的には図2参照）。

問い合わせは、各総合支所税務課資産税係へどうぞ。



商業地等とは、住宅用地以外の宅地を指します。

本年度の **価格(評価額)Ⓑ** と比べて

- 前年度の課税標準額が60%以上70%以下
前年度の課税標準額と同額
- 前年度の課税標準額が60%未満
前年度の課税標準額+Ⓑの5%

【図1】税額の計算方法



税額＝ **課税標準額** × 税率

価格×1/6(※)
(※)200㎡を超える部分については、1/3



税額＝ **課税標準額** × 税率

価格の70%が上限となります

【図2】改正後の課税標準額の計算方法



本年度の **価格(評価額)×1/6(※)Ⓐ** と比べて

- 前年度の課税標準額が80%以上100%未満
前年度の課税標準額と同額
- 前年度の課税標準額が80%未満
前年度の課税標準額+Ⓐの5%

注) 課税標準額はさらに調整される場合があります。

市営住宅の入居者を募集

受付期間：5月22日(月)～26日(金)

申込書の配布は各総合支所(胆沢を除く)で15日(月)から

区	住宅名	所在地	募集戸数	構造・室数	家賃(円)	摘要	申し込み・問い合わせ
水沢	川端	字川端	1	中耐3階建・3DK	11,600～25,400	高齢者向け、単身可	水沢総合支所建設課 ☎24-2111 内線354
	松堂	佐倉河字松堂	2	中耐4階建・3DK	16,100～35,400		
	川端	字川端	1	中耐3階建・3DK	11,600～25,400		
	ひばりが丘	字川端	1	中耐4階建・3DK	18,300～40,200		
	大橋	字大橋	1	簡耐平屋建・3K	3,800～8,500	単身可	
			1	簡耐2階建・3DK	14,800～31,000		
江刺	下苗代沢	岩谷堂字下苗代沢	1	木造平屋建・2LDK	24,000～39,800		江刺総合支所地域整備課 ☎35-2111 内線345
			2	木造平屋建・2LDK	25,300～41,900		
前沢	お物見	字陣場	1	簡耐2階建・3K	14,700～28,900		前沢総合支所地域整備課 ☎56-2111 内線255
衣川	瀬原第二団地	愛宕下	2	簡耐2階建・2DK	11,700～19,400	建築年次が古いため現地を確認してください	衣川総合支所産業建設課 ☎52-3111 内線214
	白山堂団地	馬懸	3	簡耐2階建・2DK	11,300		
			3	木造2階建・3DK	12,900～32,800		

●「中耐」は中層耐火構造、「簡耐」は簡易耐火構造の略

春の叙勲褒章

顕著な功績を挙げた人や長年にわたり職務に精励された人に贈られる、春の叙勲・褒章が発表されました。市内からは、4月28日に発表された褒章に3人、29日に発表された叙勲に5人がその栄誉に輝きました。受章者の皆さん、おめでとうございます。

瑞宝双光章
(更生保護功労)



及川清治さん(74)
江刺区田原字深沢

昭和52年に市職員を務める傍ら保護司に。罪を犯し、刑に服した人たちの社会復帰に向けた相談・指導や、犯罪予防活動に当たってきました。犯罪防止には「地域の人のふれあいと支えあい」が何よりも大切」と訴えます。

瑞宝双光章
(建設行政事務功労)



吉田正典さん(70)
前沢区字沖田

「人とお話しするのが大好き」と、苦勞の多い公共用地の取得業務を自ら志願した吉田さん。建設省では、昭和38年から退職までの29年間用地交渉を担当。「用地交渉は人の心を買うもの」という言葉に、誠実な人柄と努力が伺えます。

瑞宝単光章
(鉄道業務功労)



小島二三夫さん(73)
水沢区真城字雷神

「工事後、電車が無事に通るとホッとする」と話す小島さん。昭和28年に国鉄に入ってから、32年間にわたって線路の保守・検査業務に携わりました。雪崩や津波などの災害復旧にも当たるなど、電車の安全運行に尽くしました。

瑞宝単光章
(伝統工芸業務功労)



菊池廣志さん(68)
江刺区栄町

岩谷堂簞笥の最大の特徴である手打ち金具を制作し、昭和60年に伝統工芸士の認定を受けました。少年時代から物づくりが好きで「100年以上使える物を作れることが喜び」と更なる技術の向上、後継者育成に心を砕いています。

瑞宝単光章
(地方自治功労)



佐々木幸二さん(74)
江刺区愛宕字西下川原

県農業試験場県南分場の技能員として44年間、主に水稻の試験栽培に従事。「専門研究員のお手伝いをしただけ」と謙遜しますが、正確な試験のためには欠かせない均一なほ場の管理に努め、新品種の研究開発に貢献しました。

藍綬褒章
(統計調査功績)



安倍倭記さん(80)
胆沢区若柳字中萩森

昭和21年から平成18年まで統計調査員を務め、戦後の国勢調査すべてに従事。調査の時期が農繁期と重なったことなど苦勞もありましたが、「誰かがやらなければならぬもの」と強い責任感で職務を全うしました。

藍綬褒章
(統計調査功績)



佐藤旭さん(81)
前沢区古城字南八反町

「受章は本当に驚いた。地区の皆さんのおかげ」と話す佐藤さん。昭和23年から平成12年まで統計調査員を務めました。不在者宅には何度も足を運ぶなどの苦勞にも「地区の皆さんの協力でやりやすかった」と振り返っていました。

藍綬褒章
(調停委員功績)



千葉義美さん(71)
胆沢区南都田字田中

離婚問題や多重債務などの処理に立ち会う調停委員を昭和61年から務め、多彩な職歴で培った知識と経験で、担当案件の解決を図ってきました。今後は「この経験を生かし社会に貢献をしていきたい」と活躍を誓っていました。